

意欲的、主体的な追究を促す指導の工夫

加茂市・南蒲原郡 理科部 研究部長
加茂市立加茂小学校 教諭 石原淳一

1 今年度の主たる活動

- (1) 期 日 平成23年8月26日(金) 14:00~16:30
- (2) 会 場 加茂地区理科教育センター 実験室
- (3) 参会者 理科部員 15名(小学校7名 中学校7名 顧問1名)
- (4) 内 容 実技研修会「教材・教具作りならびに2学期以降単元のものづくりについて」
講師 加茂地区理科教育センター 専任所員 梅田裕介 様

2 研修の概要

加茂市では、市教研理科部として小・中学校合同で指導力の向上に取り組んでいる。今年度も昨年に引き続き、加茂地区理科教育センター専任所員である梅田裕介先生を講師に迎え、小中学校会員合同の実技研修会を行った。

まず、過去の水素実験における爆発事故の事例をもとに、事故防止の留意点を教えていただいた。改めて、事故の怖さや安全管理の大切さを確認することができた。

次に、用意していただいた資料や材料をもとに、新しく考案された教具や実験装置を作製した。中学校区毎のグループになって行ったので、「ポイントはこの部分だね。これは使え



材料のアルミを加工する部員

そう。ここは子どもには難しいかな。」と、情報を交換したり共有したりしながら作り上げることができた。また、小・中学校教員の交流の機会ともなった。

最後に、できあがった教材や教具を手にしながら、授業での活用場面を話し合った。子どもたちの実際の反応を想像しながら、「どのようにして授業に取り入れたら、子どもたちの主体的な追究を促すことができるのか」考えを深めることができた。



教具の活用場面を話し合う部員

次年度以降も、日常的に理科教育センターの指導や助言を仰ぎながら、教材・教具の開発に加え、それらを用いた単元構成や展開のあり方を探っていきたい。そして、本研修で獲得した知見を各校において多くの同僚に広め、指導力の向上を図りたいと考えている。



気体発生装置



磁気浮遊実験器